市立貝塚病院広報誌
Kaizuka City Hospital
Vol. 20
2017 1月

コスモスだより

我らがベストドクターズ！

乳腺外科 稲治 英生　消化器内科 山田 幸則　産婦人科 横井 猛

【ニューストピックス】

放射線科

最新3T（テスラ） MRI 導入

【部署通信】 なすびんネット

【お知らせ】

新年のご挨拶　院長　吉原 治正
第58回 市立貝塚病院 市民公開講座
イベントレポート
我らがベストドクターズ
緩和ケアフォーラム（医療従事者向け）

病院の理念 基本方針

地域住民を守る良質な医療の提供

1．医療を通じ患者さんの歓びが自らの歓びになるような職業人をめざします。
2．常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実をめざします。
3．患者さんの治療には、各々の職務を結集したチーム医療をめざします。
4．地域の医療機関と連携を密にし、信頼される中核病院として急性期医療をめざします。

発行：市立貝塚病院 広報委員会

放射線科 最新3T（テスラ） MRI 導入

2月より、新しい MRI（磁気共鳴画像装置）が導入されます。従来の 1.5T から最新の3T へとグレードアップ。最新機器の高い性能を活かし、診断の向上を図ります。

■ 高画質で診断能力向上に

磁場強度が 1.5T から 3T に上昇することで、より高画質な画像を得ることができるようになります。

従来の 1.5T 装置ではよく見えなかった細かな部分まで見ることができるため、微小な病変を発見しやすくなり、早期発見、早期治療につながります。また、1.5T 装置では困難であった関節軟骨部の変性が検出できるなど、有用な分野が広がっています。

MRI って何？

MRI（磁気共鳴画像装置）は、磁場と電波を使って、身体の内部を撮影する装置です。放射線を使わずに撮影することができます。しかし強力な磁石を使うため、体内に金属があると使用できない場合もあります。

3T って何？

T とはテスラ、磁場の強さの単位です。
（1テスラ= 10,000 ガウス）
磁場が強くなると、解像度の高い画像がより短い時間で撮影できるようになります。

■ 肝臓疾患の診断に大きな力 ― MRエラストグラフィ

肝臓の線維化の新しい診断手法

慢性肝疾患の肝臓では弱い炎症が継続して起こり、徐々に肝臓の線維化を引き起こします。そのため、線維化の程度を知ることは、肝臓疾患の診断においてとても重要です。MR エラストグラフィは、肝臓の線維化を測定する新しい手法です。

肝臓を揺らして固さを測る

腹部に板を当てて振動させ、その振動に合わせて MRI を撮影することで、肝臓内を通過する振動波を測定します。振動波の波長により、肝臓全ての部分の固さを数値で表すことができるのです。

身体を傷つけないやさしい検査

肝線維化診断は、通常『肝生検』によって行われています。『肝生検』では、体外から肝臓に針を刺して組織の一部を取り出します。しかし、肝生検で得られる組織はほんの少しで、肝臓全体の状態を表している訳ではありません。また、身体に傷を付ける侵襲的検査のため、患者さんに負担がかかってしまいます。MR エラストグラフィは、侵襲性がなく身体を傷つけることなく検査ができます。

■ 患者さんにやさしい検査環境

とっても静か！

MRI の検査と言えば、音がうるさいのが欠点でしたが、新しい MRI はとても静かになっています。

開口部が広くなりました！

MRI の検査では、狭い筒（磁場発生装置）の中に身体を入れなければなりません。そのため、狭い所が苦手な方や身体の大きな方など、辛く感じる方もいらっしゃいました。新しい MRI では、開口部が従来の 60㎝から 70㎝と広くなり、検査時の閉塞感が軽減されています。

患者テーブルが低くて広い！

患者さんが横になるテーブルの幅が広くなり、高さも低い位置まで調整できるようになりました。高齢者やお子様でも安心して乗り降りできます。

検査時間が短縮！

CT に比べデメリットとされるのが撮影時間の長さ。新しい MRI は、従来に比べ撮影時間の短縮が可能になります。

X 線撮影装置も FPD 搭載機器に更新！

FPD って何？

FPD（Flat Panel Detector）：被写体を透過した X 線をデジタルデータに変換するための最新システムです。

＝ FPD 搭載機器の特徴＝

高い画像解像度

画像解像度が大幅にアップしノイズも少ないため、病変解析機能が向上します。

被曝量も減少

X 線を効率よく利用できるため、X 線照射による患者さんの被曝量が減少します。

データ処理能力の向上

撮影・データの取り込み時間が減少するため、患者さんの待ち時間も短縮できます。

FPD 搭載一般 X 線撮影装置（3台）

新しい X 線撮影装置は、広範囲を撮影する『長尺撮影』が簡単にできます。脊椎疾患や人工関節置換術前計画など、特に整形外科領域で有用な撮影方法です。

ポータブル X 線撮影装置

病室や診察室など、X 線撮影室以外の場所でも移動して使えます。

地域医療連携室より

泉州南部診療情報ネットワーク運営協議会

なすびんネット

泉州南部地域の医療機関が、
患者さんの同意のもと
診療情報を共有することで、
診療に役立てるネットワークシステムです。

■より広くより密に、成長する医療情報ネットワークへ

より多くの医療機関の参加と患者さんのご登録を！

『なすびんネット』は、泉州南部（貝塚市以南の4市3町）の地域医療連携を深め、医療の質や安全性の向上を図ること、そして、地域住民がより良い医療を受けることができる社会づくりを目指し、平成 26 年 4 月に本格稼働しました。ほぼ3年が経過し、現在 72 の医療機関が参加、約 2,500 人の患者さんが登録されています。

●当院の他、参加医療機関や保健センター等にもリーフレットを備え付けています。気軽にお声掛けください。
●参加施設の一覧など詳細は、「なすびんネット」ホームページをご覧ください。http://nasubin.net/

診療情報を共有することで、連携する医療機関での重複処方や飲み合わせトラブルを防ぎ、検査の重複も防ぐことができます。また、共有された情報はその後の治療方針決定等にも大いに活かされています。このネットワークは、今求められている「地域全体で支える医療体制」を実現させるための 要（かなめ）となるものなのです。

現在、地元の医師会や歯科医師会のご協力を得ながら運営を行っていますが、さらに薬剤師会との連携実現も目指しています。また、将来的には在宅医療との連携をも目標に掲げています。より有効により幅広く『なすびんネット』を成長させるため、新たなネットワークが広がろうとしています。

ネットワークの力は情報の量と質。より多くの施設と患者さんの参加をお待ちしています！！

公開する情報も随時充実、『退院時サマリ』も追加されています

より使い勝手が良く役に立つシステムへと成長させるため、参加医療機関へのアンケート調査やヒアリングを実施してきました。「診察中だけではなく、診察前や診察後においても、情報公開施設での診療情報が参照できることは非常に役立つ」「画像の読影結果等、今後の参考になる場合が多い」など、多いに活用いただいているようです。また、頂いたご要望にお応えすべく、公開情報も随時充実させています。平成 28 年 9 月からは、『退院時サマリ』の公開も開始しました。

これからも、参加医療機関のご意見を取り入れ、より良いシステム作りをすすめていきますので、お気軽にご意見やご希望をお寄せください。

退院時サマリって何？

診断名や病歴、入院から退院に至るまでの臨床経過、検査時の所見、処方などを要約したものです。
これにより、主治医以外の医療関係者が診療を正確に遂行したり、退院後もよりスムーズで効率的な診療をすることに役立っています。

【お問い合わせ】　地域医療連携室
☎ 072-422-5865（内線：236）

院長　吉原 治正

新年明けましておめでとうございます

平成 29 年が皆様にとって輝かしい 1 年となりますよう心よりお祈り申し上げます

市立貝塚病院は本年で創立 78 年を迎えます。伝統ある貝塚市直轄の市民病院として長年月にわたり発展し続けることができたのも、ひとえに市民の皆さん、近隣医療機関の皆さん方のご協力、ご支援の賜物と深く感謝いたしております。

当院は高度先進医療、がん医療、地域医療に注力して急性期医療を担ってまいりました。一昨年には、緩和ケア病棟、人工関節センターを開設し、昨年は消化器センターを消化器･肝臓センターに改変しました。「緩和ケア病棟」は貝塚以南の泉州地域唯一のものであり、最近は市内のみならず遠方からの紹介患者様も増加し、次第に病床稼働率も上がってきました。地域の皆様に認知されつつあると心強く感じております。昨年 10 月からは緩和医療専門の専従医 1 名も着任し、今後の大きな発展が期待されます。また、「人工関節センター」開設後、この領域の手術件数も増加傾向であります。「消化器・肝臓センター」では内視鏡ブース数、外来診察室数を増やし、消化器内科医 1 名、外科医 1 名を増員しました。専門医も十分そろっており、専門医の少ない当地域の消化器・肝臓疾患に対する高度医療を行う中核施設としてその役割を果たしております。開設後、内視鏡件数、肝疾患診療件数ともに増加しております。

さらに、老朽化した 1.5 テスラ MRI 装置を 3.0 テスラの最新鋭 MRI 装置に更新する工事が昨年末より始まっており、本年 2 月下旬には設置完了となります。工事期間中は他施設で MRI 撮影を行うことになっており患者様には大変ご迷惑をおかけします。完成しますと診療の精度と効率のさらなる向上が予想されます。広くご利用いただきますようお願いします。

一方、当院外来患者数の増加に伴い、駐車場の混雑で患者様に大変ご迷惑をおかけしておりましたが、昨年より駐車場の拡張工事を開始し混雑解消へと努力しております。

病院の運営状況をみますと、平成 27 年度経常収支は黒字となり、平成 25 年度以降 3 年連続単年度黒字が続いております。平成 28 年度も同様に黒字となるよう全職員が最善を尽くしております。

当院が抱える今後の問題として、1）内科、麻酔科など特定の科における医師不足の解消、2）2 次救急医療の再開、3）医療費改定に基づいた 7 対 1 急性期病棟の維持（重症度、医療・看護必要度 25％以上）、などが挙げられます。国の示す地域包括ケアシステム、地域医療構想については急性期病床として今後ともその役割を果たしていく所存です。

以上のように、当院ではこれまで着実に環境の整備や職員の数、質の向上、および経営基盤の改善をはかり、市民の皆さんが求められる病院機能へと近づけつつあると考えております。今後とも、病院の理念である「地域住民を守る良質な医療の提供」を実行するため全職員一丸となって邁進する所存ですので、本年も変わらぬご協力、ご支援をお願い申し上げます。

■第 58 回　市立貝塚病院　市民公開講座のお知らせ

【テーマ】やってみよう 一次救命処置　動きやすい服装でご参加ください
【日　時】1 月 17 日（火）　13：30 ～ 15：00
【講　師】救急看護認定看護師 石谷 まゆみ ／看護局 BLS 委員会
【場　所】市立貝塚病院　7 階講義室
【費　用】無料（定員 30 名　要予約）
【申込・お問い合わせ】　地域医療連携室　☎ 072-422-5865（内線：236）
※ 1 階総合案内でも予約受付しております。
※ FAX でも受け付けております。　FAX：072-439-6061
お名前・連絡先・申込する講座テーマ・日程を記入し送信してください。
●手話通訳あり

リレー・フォー・ライフ

平成 28 年 9 月 24 日（土）· 25 日（日）
【場所】二色の浜（市民の森）

がん患者さんやご家族を支援し、「がん征圧」を目指す、全国規模のチャリティ活動です。

1985 年アメリカ、一人の医師がトラックを 24 時間走り続け、対がん協会への寄付を募りました。「がん患者は 24 時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこのイベントは、2015 年には世界 25 か国、約 6,000 か所で開催され、年間寄付は 470 億円に上ります。日本では 2016 年に 10 年目を迎え、全国 49 カ所で開催されました。

当院も応援する、がん患者支援チャリティウォークイベント

このイベントでは、がん患者さん、がんを乗り越えた方、ご家族、がん征圧に尽力する方など、多くの方々がリレーで夜通し歩き、全国のリレーへとタスキをつなぎます。今回は、爽やかな秋晴れのもと、延べ 862 人、サバイバー（がん患者 29 人）、40 チームが参加して行われ、夜には追悼の灯をともすルミナリエセレモニーも開かれました。

当院は大阪府がん診療拠点病院として指定を受けており、がん診療の第一線に立っています。「がん征圧」の志を同じくするこの活動を応援し、毎年ボランティアで参加してきました。患者さんやご家族と、病院とは違う環境でふれあいながら、「がん征圧」への思いを新たにしています。

会場の熱意そのままに、熱心に聞いていただいた看護師による医療講演

グラウンド横の施設内で、認定看護師による医療講演も実施しました。

◆「がん」ってつまり何？～「がん」になる仕組みについて～　がん化学療法看護認定看護師　黒木大輔
◆もっと身近に「緩和ケア」　緩和ケア認定看護師　白石裕実

参加者からは「がんを防ぐためにできることは？」など、積極的に質問の手が挙がりました。緩和ケアについても、「緩和ケアは治療の万策が尽きた後に終末期のケアとして始めるのではなく、がんと診断されてから始まること」について理解が深まったようでした。

イベントレポート report

医療講座「糖尿病網膜症＆眼科ドックについて」

乳がん自己検診

禁煙相談

もちつき

救急蘇生講座

「雅」琴・尺八演奏

視力低下・視野狭窄体験

第一中学校合唱部

手洗いチェック

第四中学校吹奏楽部

第 20 回 病院祭

平成 28 年 11 月 12 日（土）
【場所】市立貝塚病院

今年は模擬店のない「ミニ病院祭」でしたが、約 400 人の来場を迎えました。

楽しみながら体験する

「医療講演」や各種展示など、聞いて読んで学ぶだけでなく、「乳がん自己検診」や「救急蘇生講座」など、実際に体験することで、楽しみながら健康意識や知識を高めることができます。各コーナーを担当する専門分野の職員も、いろんな質問に張り切って答えます！

欠かせないお楽しみ

毎年恒例のもちつきと振る舞いぜんざいで、お祭り気分も上々。更に華を添えてくれたのは、ボランティア演奏グループ「雅」さんによる琴・尺八演奏、貝塚市立第一中学校合唱部による合唱、第四中学校吹奏楽部による演奏です。

皆さんお待ちかねの「抽選会」も大いに盛り上がりました。

第 29 回 市民健康まつり

平成 28 年 10 月 16 日（日）【場所】市立保健センター

市民健康まつりは「市民が健康について考える機会を得ることで地域の健康づくりを推進すること」を目的に開催され、当院も毎年コーナーを設けて参加しています。

昨年の倍以上の参加者に大わらわ！

今年は、簡単な運動で行う「サルコペニア・ロコモチェック」と筋量減少予防等の説明、手洗いのチェック、貝塚市医師会と合同での禁煙のすすめコーナーの他、ポスター掲示による眼科ドック、乳腺トモシンセシス、なすびんネットの紹介を行いました。

手洗いチェック

サルコペニア･ロコモチェック＆説明

昨年は 120 人でしたが、今年は 288 人の市民が参加。とても嬉しい結果ですが、ポスター展示内容のご案内があまりできなかったのが残念！！

話題のサルコペニアに大きな関心

大盛況だったのが「サルコペニア・ロコモチェック」です。サルコペニアとは「筋量・筋力の低下を特徴とする症候群」のこと。高齢になると筋肉減少症が起こりやすくなるので対策が必要です。ご自身の体力年齢を知るため、多くの方が「サルコペニア・ロコモチェック」を楽しんで受けられました。チェック終了後は、結果を元にした筋量減少予防の生活習慣などの指導を熱心に聞いていらっしゃいました。

■ 我らがベスト・ドクターズ「The Best Doctors in Japan™ 2016-2017」

【The Best Doctors in Japan™】とは、ベストドクターズ社（本社米国）が名医として認定した称号です。医師の選出方法は、膨大な数の医師に対して「もし、あなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」とのアンケートで、同じ分野で評価される医師を「医師に信頼されている医師」として選んでいます。

乳がん

名誉院長
専門分野　乳腺疾患
稲治 英生

第 16 回日本乳がん学会総会会長を歴任するなど、我が国の乳がん治療を牽引。

肝臓

消化器内科主任部長
消化器・肝臓センター長
副院長
専門分野　消化器内科、肝臓疾患
山田 幸則

大阪北部との医療格差を埋めるべく、特に肝臓疾患の内科的治療にその専門性を発揮。

子宮

産婦人科主任部長
婦人科腫瘍センター長
専門分野　産婦人科全般、婦人科腫瘍（良性・悪性）、内視鏡下手術
横井 猛

腹腔鏡下子宮体癌根治手術など、全国でも数少ない術式を行う高い技術力で２回目の選出。

地域連携ニュース

■ 緩和ケア フォーラム（医療従事者向け）

平成 29 年 1 月 21 日（土）

医療従事者を対象とした「緩和ケアフォーラム」を下記の通り実施いたします。
ご多忙とは存じますが、是非ご参加ください。
講演会終了後、ささやかではありますが情報交換の場をご用意しています。

【日　時】1 月 21 日（土）　15：00 ～ 17：00
【場　所】市立貝塚病院　７階講義室
【申込・お問い合わせ】　市立貝塚病院 地域医療連携室　☎ 072-422-5865（内線：236）

当院緩和ケアについて　15：10 ～ 16：10
緩和ケア病棟看護師（がん性疼痛看護認定看護師・緩和ケア認定看護師）よりご説明します。

講演『地域医療における緩和医療の役割について』　16：10 ～ 17：00
講師：内科副部長 緩和ケア専従医　川上 寛明